



洗足学園音楽大学
ベーシックオーケストラ
クリスマスコンサート2022

2022年12月15日(木)

18:30 開演 18:00 開場

洗足学園 前田ホール

主催 洗足学園音楽大学・大学院

新型コロナウイルス感染症の 感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

Greeting

本日は洗足学園音楽大学ベーシックオーケストラ「クリスマスコンサート2022」にお越しいただきありがとうございます。指導教員を代表して御礼申し上げます。

本学ではマスター・レパートリー・ベーシックという3つのオーケストラ組織で合奏授業を行っています。大学に入学したての、ほとんどオーケストラ経験のない学生をオーケストラスタディ、分奏、合奏を通して古典・ロマン派から近代の代表的な管弦楽作品を演習する授業形式で前期・後期の2回研究発表演奏会を行います。指導にはN響・読響をはじめとするオーケストラ教員と活躍中の指揮教員、そして弦楽器パートを卒なくこなして合奏の授業を経験させていただくピアノ教員があたり、懇切丁寧に授業を行っています。

後期には、本学特別教授・芸術監督の秋山和慶先生に指揮をお願いし、厳しくも暖かい指導を行なっていただき今日の演奏会を迎えることができました。

今宵はゆっくりと若さに満ち溢れた演奏をお楽しみいただきましたら幸いです。

私事で恐縮ですが、本日の演奏会を持ちましてベーシックオーケストラ運営責任者を定年・卒業となります。2005年にビギナーズオーケストラとして始まり、ベーシックオーケストラと名称変更し、現在の授業形態になってから今日まで運営責任者として勤めてこられましたことを、ご尽力いただきましたすべての本学教職員、特に初めての運営に協力いただきました諸先輩がたに心より感謝申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

ベーシックオーケストラ 企画運営責任者
フルート教授 渡部 亨

Program

P.デュカス／「ラ・ペリ」のファンファーレ
Paul Dukas (1865-1935) // Fanfare pour précéder La Péri

D.シヨスタコーヴィチ／祝典序曲 作品96
Dmitri Shostakovitch (1906-75) // Festive Overture, Op.96

L.v.ベートーヴェン／交響曲第3番 変ホ長調「英雄」作品55
Ludwig van Beethoven (1770-1827) // Symphony No. 3 in E-Flat Major, Op.55, "Eroica"

- I. Allegro con brio
- II. Marcia funebre: Adagio assai
- III. Scherzo: Allegro vivace
- IV. Finale: Allegro molto

休憩

L.アンダーソン／クラリネット・キャンディ
Leroy Anderson (1908-75) // Clarinet Candy

L.アンダーソン／サンドペーパー・バレエ
Leroy Anderson // Sandpaper Ballet

L.アンダーソン／トランペット吹きの日
Leroy Anderson // Bugler's Holiday

A.ロイド＝ウェバー (C.カスター編曲) /
「オペラ座の怪人」セレクション
Andrew Lloyd Webber (b.1948) // Arr. Calvin Custer // Selection from "The Phantom of the Opera"

E.エルガー／行進曲「威風堂々」作品39 第1番 二長調
Edward Elgar (1857-1934) // Military Marches, Op.39, "Pomp and Circumstance" No.1 in D Major

Program Notes

P.デュカス／「ラ・ペリ」のファンファーレ

ポール・デュカス(1865-1934)はフランスのパリにて、ユダヤ人の家庭に生まれた。16歳でパリ音楽院に入学しテオドール・デュボワに和声を、エルネスト・ギローに作曲を学ぶ。作品数は少ないが20世紀初頭のフランス音楽界を代表する作曲家の一人である。

この曲は、1912年にロシアのバレエ団の依頼により作曲された。「ペリ」とは古代ペルシャの神話に出てくる仙女(妖精)。イスカンダル王が不老不死の蓮の花を求めてペルシャへ渡りペリからその花を奪う、人間に在る欲の様を題材としている。今回演奏するファンファーレはバレエの本編が始まる前の曲である。金管楽器のみの編成から、現在では演奏会や式典の開始時に単独で演奏されることも多い。独特な和音進行と共に曲が進み、華々しい響きで曲は締め括られる。

トロンボーン 鈴木 夏佳

D.ショスタコーヴィッチ／祝典序曲 作品96

ドミトリー・ショスタコーヴィッチ(1906-75)はサンクトペテルブルクに生まれ、9歳頃に母からピアノの手ほどきを受け始める。幼少の頃から才能を発揮し13歳でペトログラード音楽院へ入学しピアノと作曲を学ぶ。1925年、卒業作品として書いた「交響曲第1番」が高い評価を得た。卒業後はオペラや交響曲など多数作曲し活動の幅を広げていく。当時、ソビエト社会主義政権は道徳的に崩れていると見做された音楽を制限していたため、1932年に歌劇「ムツェンスク郡のマクベス夫人」を作曲した際、掲げていた芸術表現形式から逸脱しているという理由で窮地にたたされる。名誉回復のためと伝統的形式に則った「交響曲第5番(革命)」を作曲し1937年に初演、大成功をおさめ事なきを得た。やがて戦争も終わり、再び音楽院に復帰し、教授として音楽活動を再開。国際的な作曲家として高い評価を受ける。

この曲は1954年、モスクワのボリショイ劇場で行われたロシア革命(ロシアを議院内閣制の国ではなく社会主義国へ変革を進めた革命)37周年記念演奏会にて、アレクサンドル・メリク＝パシヤーエフ指揮、同劇場管弦楽団によって初演された。作曲の経緯は1947年、ロシア革命30周年記念のために書かれたのを改作したとされているが、1952年のヴォルガ・ドン運河開通のために作曲されたという説もある。ショスタコーヴィッチは演奏会の数日前になって急遽作曲を依頼され、わずか3日で書き上げたとも伝えられている。

ホルン 西口 麗奈

Program Notes

L.v.ベートーヴェン／交響曲第3番 変ホ長調「英雄」作品55

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェンは1770年にドイツで生まれた。宮廷のテノール歌手だった父ヨハンと、母マリア・マグダレーナのもとに生まれ、父ヨハンは3歳から息子を教育。その甲斐もあり、幼少から才能を発揮。20歳になるとハイドンに弟子入りする。ウィーンを拠点に数々の名曲を残した。しかし、20代後半から持病の難聴が徐々に悪化。一時は作曲にも影響を及ぼしたが、音楽史に名を刻む大作を次々に完成させた。ドイツ三大Bのうちの1人であり、日本では「楽聖」とも呼ばれる。古典派音楽の作曲家として分類されるが、ロマン派音楽の先駆とされ、後の作曲家に大きな影響を与えた。

この曲は1804年に完成。「英雄(エロイカ)」と呼ばれるのは、フランス革命後、ナポレオンを讃える曲として作曲された。しかし、完成後ナポレオンが皇帝に即位したという知らせに激怒したベートーヴェンが、ナポレオンへの献辞の書かれた表紙を破り捨てた、という逸話がある。

第一楽章 Allegro con brio

テーマがチェロによって提示され、全合奏で確保される。規模の大きいコーダが第二展開部ともいえる構造を形成している。

第二楽章 Marcia funebre: Adagio assai

長調の交響曲にもかかわらず、短調の葬送行進曲となっている。緩徐楽章にはかつて見られなかったような金管とティンパニの威力や、不協和音の効果も交えてクライマックスを築く。

第三楽章 Scherzo: Allegro vivace

18世紀的なメヌエットに代わり、スケルツォ楽章となっている。冒頭4小節の弦の刻むリズムの第1ヴァイオリンはヘミオラとなっている。終結部では2分の2拍子になる部分もあり、総じて可変拍子的な感覚が多用されている。

第四楽章 Finale: Allegro molto

フーガ含む、極めて自由な変奏曲である。主題は自身が作曲したバレエ音楽「プロメテウスの創造物」の終曲から転用している。

コントラバス 栗山 愛奈

Program Notes

L.アンダーソン／クラリネット・キャンディー

ルロイ・アンダーソン(1908-75)はアメリカのマサチューセッツ州に生まれる。教会オルガニストを務める母親からピアノの手ほどきを受け、1926年にハーバード大学へ、後にニューイングランド音楽院にも通いピアノや作曲を学ぶ。卒業後は学者や教師として活動をするかたわら、ダンス・バンドのミュージシャンなどを務めて生計を立てた。1938年、ボストン交響楽団のマネージャーの依頼によってハーバード大学の学生歌を編曲して提出したところ、指揮者アーサー・フィードラーの目に止まり管弦楽法の能力を激賞され、自作を書くように求められる。これを機に「ジャズ・ピチカート」を作曲・発表し、聴衆の好感触を得た。第二次世界大戦と朝鮮戦争中は軍隊に所属し一度は音楽から逸れるが、1946年に除隊し音楽活動に復帰。「シンコペイテッド・クロック」を作曲しゴールドディスク賞を受賞。1950年代にはポップス・オーケストラの指揮者としても活躍した。彼の音楽は今日でもポップス・オーケストラの定番レパートリーとして演奏され続けている。

この曲は名の通りクラリネットが活躍する曲である。キャンディー(飴)の小さくて可愛い見た目や食べる時の楽しい気持ちなどを、クラリネットの幅広い音域を使い速く細かい旋律で表現されている。アメリカの作曲家ならではのユーモアに溢れた曲である。

クラリネット 宮島 桃子

L.アンダーソン／サンドペーパー・バレエ

この曲はルロイ・アンダーソンによって1945年に作られた。彼の数多くある作品の中で、時計の刻む音をウッドブロックで模した「シンコペイテッド・クロック」、本物のタイプライターを用いて忙しなくタイプ作業をする様を描いた「タイプライター」など、日常で聴く「音」を楽器で表現したり、日用品を楽器として用いた作品がある。今回演奏する曲はサンドペーパー(紙やすり)を楽器にしている。オーケストラが奏でるほのぼのとしたメロディを基に、3人の奏者が紙やすりを擦り活き活きとしたリズムを表現する。

打楽器 櫻井 優風

L.アンダーソン／トランペット吹きの日

この曲はルロイ・アンダーソンが1954年に作曲した。タイトルに「休日」という言葉が記されているものの、テンポは速くて音符も細かく休みは少ない。では、なぜ「休日」と記されているのか。それは、まず原題の「Bugler's Holiday」の「Bugle(ビューグル)」とは、軍隊で使用される軍隊ラッパの事なのだが、当時の軍隊ラッパ吹きは、起床、食事、就寝といった決まった時間に信号ラッパを吹くのが仕事であった。それ以外に自由に吹く事はできなかったもので、「休日の日くらい思う存分ラッパを吹きたい。」といった気持ちを曲にしたといわれている。休日になり、自由気ままに演奏できる喜びと楽しみが表現された明るい曲調となっている。

トランペット 依田 彩貴子

Program Notes

A.ロイド＝ウェバー (C.カスター編曲) / 「オペラ座の怪人」 セレクション

アンドリュー・ロイド＝ウェバーは、ミュージカルで大きな成功を収めた作曲家である。1948年にイングランドのロンドンに生まれた。父は作曲家、母はヴァイオリニスト兼ピアニストという事で幼少の頃から自然と音楽に触れ学んでいた。オクスフォード大学モードリンコレッジで歴史学を専攻していたが、音楽の道に進むため中退をして王立音楽院に進んだ。「オペラ座の怪人」の他に、「キャッツ」「サンセット大通り」などの代表作がある。

ミュージカル「オペラ座の怪人」は1986年にロンドン、1988年にはアメリカのブロードウェイで開幕した。200着衣上の衣装やシャンデリア、ゴンドラ、螺旋階段などの舞台装置は多くのファンを引き付け、ドラマ・デスク・アワードやトニー賞などの多く賞を受賞した。物語はパリのオペラ座に住み着いている怪人と、怪人に歌手としてのレッスンを受けるクリスティーヌ・ダーエ、クリスティーヌの幼なじみであるラウル子爵の三人の三角関係のストーリーとなっている。フランスの作家、ガストン・ルルーによって書かれた原作を刈り込み、怪奇的でありながらも怪人を中心としたラブロマンスが描かれている。

今回のカルバン・カスター編曲版では「The Phantom of the Opera」「Think of Me」「Angel of Music」「The Music of the Masquerade」「All I Ask of You」を演奏する。

クラリネット 高木 哉太

E.エルガー / 行進曲「威風堂々」 作品39 第1番 二長調

エドワード・エルガー(1857-1934)はイギリスの作曲家。幼い頃から音楽的才能があり、ピアノやヴァイオリンなどある程度の手ほどきは地元で受けていたものの、家庭の経済的な理由で本格的に学ばず15歳まで一般教育を受けていた。一度は就職をするものの馴染めず早々に退職。父の仕事を手伝いながら音楽の勉強を続け、ピアノやヴァイオリンを教え生計を立てていた。30代に結婚したがまだ音楽界ではなかなか芽が出ず、そんなエルガーに転機が訪れたのは42歳。「独創主題による変奏曲(エニグマ変奏曲)」を発表した1899年。この曲が大成功を収め、一気にエルガーの名が世に知れ渡った。翌年1900年には、オラトリオ「ゲロンティアスの夢」が絶賛され、ヨーロッパ中に注目された。そして1901年、エルガーは「威風堂々」の第1番を作曲する。当時エルガーは友人のドーラ・ペニーに「皆の心を打つ旋律を思いついたんだ」と語った。その旋律は、「威風堂々」第1番の中間部(トリオ)である。第1番から第4番は1901年から1907年に、第5番は晩年の1930年に作曲された。また、遺稿から見つかった第6番は未完成であり、アンソニー・ペインによって補筆、完成された。エルガー自身が「皆の心を打つ」と確信していた第1番のトリオには歌詞が付けられ、「希望と栄光の国」と呼ばれ絶大な人気を得るとともに、今やイギリス国民にとって【第2の国家】と称される程、多くの場所で演奏され愛される曲となった。

フルート 越野 梨花



Conductor

指揮者
秋山 和慶

Kazuyoshi Akiyama

1941年生まれ。齋藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。1964年2月に東京交響楽団を指揮してデビューののち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。その間、トロンボーン副指揮者、アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督(現在桂冠指揮者)、シラキウス響音楽監督、大阪フィル首席、札幌響首席、広島響首席、九州響首席などを歴任。サンフランシスコ響、クリーヴランド管、ロサンゼルス・フィル、フィラデルフィア管、ニューヨーク・フィル、ボストン響、シカゴ響、ロイヤル・フィル、NDR北ドイツ放送響、ケルン放送響、ベルリン放送響、スイス・ロマンド管、チューリッヒ・トーンハレ管などに客演している。

1991年東京響創立45周年記念ワールドツアーでは全公演を指揮して大成功をおさめ、1994年には同団第400回定期演奏会を記念したシェーンベルクの歌劇「モーゼとアロン」(演奏会形式)を指揮、各紙から絶賛を博し同年音楽界最大の話題となった。また同公演のCDは各レコード誌より国内外で高く評価された。ふたたび1996年東京響創立50周年記念ヨーロッパ公演を指揮して同公演を成功に導き、2001年には同団創立55周年トルコ・イタリア公演を指揮し各地で好評を博した。1997年にシェーンベルク:ヤコブの梯子、ヤナーチェクの歌劇「利口な女狐の物語」(舞台上演形式)、2000年ラッヘンマン:歌劇「マッチ売りの少女」(演奏会形式・日本初演)、ヤナーチェク:歌劇「カーチャ・カバノヴァー」(原語による日本初演)、2003年にはジョン・アダムズ:「エル・ニーニョ」(日本初演)を取り上げるなど常に新たな挑戦を続けている。

これまでに第6回サントリー音楽賞(1975年)、芸術選奨文部大臣賞(1995年)、大阪府民劇場賞(1989年)、大阪芸術賞(1991年)、第36回川崎市文化賞(2007年)、広島市民賞(2008年)をはじめ、東京響とともに毎日芸術賞(1994年)、第8回京都音楽賞大賞(1993年)、モバイル音楽賞(1996年)、第29回サントリー音楽賞(1997年)を受賞。2001年11月に紫綬褒章、2011年6月には旭日小綬章を受章。2014年度文化功労者に選出。同年中国文化賞(広島)、徳島県表彰特別功労賞を受賞、2015年渡邊暁雄音楽基金特別賞を受賞。

2014年指揮者生活50年を迎え、2015年2月には回想録「ところで、きょう指揮したのは？」(共著/アルテスパブリッシング刊)を出版。

現在、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者、日本センチュリー交響楽団ミュージックアドバイザー、岡山フィルハーモニック管弦楽団ミュージックアドバイザー、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者など多くの任を務めるほか、洗足学園音楽大学芸術監督・特別教授、京都市立芸術大学客員教授を務めている。

Basic Orchestra

Christmas Concert 2022

Members

Concert Master	峯岸 陸	LEE SEONJAE		
Violin	阿部 史歩 [#] 大谷 桜子 [#] 佐々木 蓮奈 [#] 成田 叶 [#] 村田 春歌 [#]	阿部 結愛 [#] 大槻 茉莉子 [#] 澤崎 杖也 [#] 藤本 翔大 [#] 中 一乃 ^b 門井 晴子 [#] 中野 綾子 [#] 有馬 憧 [#] 丹野 陽介 [#] 栗山 愛奈	雨川 笑子 [#] 金子 都 [#] 志村 瑠南 [#] 舟久保 優貴 [#] 川田 知子 ^b 加藤 星南 [#] 堀場 裕太 [#] 奥平 華子 [#] 荒 庸子 ^b 高野 響花 [#]	井上 葵 [#] 木村 光輝 [#] 下谷 岬向 [#] 前田 明日香 [#] 物集女 純子 ^b 川村 凜子 [#] 古川原 裕仁 ^b 佐伯 江梨花 [#] 安田 廉 [#]
Viola	有山 志音 [#] 北谷 茉莉子 [#]			
Cello	前田 慎之助 鈴木 佳都紗 [#]			
Contrabass	加藤 翔子			
Flute	大里 花奈 長瀬 柚葉 福島 千瑛 中野 陽菜 廣田 麗	横田 望 津坂 和実 井上 りこ 佐藤 花音	久保 文乃 峯村 実優 清水 莉穂 伊東 琴理	越野 梨花 徳増 柚衣 添田 羽音佳 福留 弥紗
Oboe	福田 真弓	小中 ひかる [#]	佐藤 千尋 [#]	長井 千佳 [#]
Clarinet	中田 大護 宮島 桃子 須田 結麗 ^乃 福田 百々子 財津 向日葵 菊地 航太 河田 陽菜 加藤 壮一郎	高木 哉太 村山 夢空 宇佐美 健斗	木村 天斗 川田 心優 井口 一紗	猪飼 優来 今井 裕莉子 横尾 美帆
Fagotto		殿村 和也 [#]	宮原 彩 [#]	吉田 南 [#]
Horn		服部 和奏 横山 柊祐	櫻間 月菜 西口 麗奈	塩入 楓果 大久保 晴夏
Trumpet	平野 光沙 山口 華奈子 堀野 大典	鳥潟 涼花 鈴木 洸太 依田 彩貴子	松澤 優羽 服部 沙良 清田 彩華	吉田 伎良 及川 優羽 柴田 海司
Trombone	神野 日向 山下 里奈 加茂 伸一 宮川 蒼汰 西 咲良	鈴木 夏佳 湯原 芽生 西村 優穂 鱸居 愛加 山本 大雅 井川 のの 櫻井 優風 島崎 蓮 林 恭輔 高田 勇大 落合 侑亮 森 真由美 [♪] 原 彩子 柳田 菜々子	中西 優和 宮田 柁 東野 健志	田中 朱音 岩尾 琴羽 中尾 慧
Tuba			西谷 太一 宇佐美 裕大 中本 亜美 原 佑安 佐々木 和奏 吉田 葉音	横山 舞人 榎本 若葉 LIANG CHEN 加藤 龍雅 田中 翔乃 佐竹 光輝
Percussion	海野 結衣 阪本 真唯 吉田 歩登 福島 潤 両倉 愛斗 畑津 圭吾 大隅 レオナ [#] 孫 百誼 石田 瑠奈 木村 理佐 [#]		瀬沼 貴寛	惠利 杏奈
Harp				
Piano				
Organ				

[#]:演奏補助要員
^b:教員
[♪]:外部奏者

指導教員

運営企画責任者

渡部 亨(教授)

松村 秀明
中 一乃
荒 庸子
山口 卓郎
松本 健司
中舘 壮志
水谷 上総
小林 祐治
林 辰則
門脇 賀智志
山澤洋之
清水 太
角田 一久
海野 匡代

上野 正博
川田 知子
羽川 真介
田渕 哲也
近藤 千花子
石井 淳
勝俣 泰
中山 隆崇
古田 賢司
菅 貴登
井手上 達
西川 麻里子

安藤 敬
物集女 純子
山本 祐ノ介
吉村 結実
鎌田 浩志
吉田 将
久永 重明
海野 匡代
古田 俊博
次田 心平
中村 祐子
小林 裕子

瀬尾 宗利
古川原 裕仁
矢内 陽子
佐藤 亮一
小林 利彰
鈴木 一志
森 雅彦
神代 修
府川 雪野
渡邊 功
山田 徹
佐藤 全子

助手

アカデミックコーディネーター



洗足学園音楽大学 ベーシックオーケストラ



本学には、4年生を中心とした「マスターオーケストラ」、2・3年生を中心とした「レパートリーオーケストラ」、そして1年生の「ベーシックオーケストラ」の3団体でオーケストラが構成されています。ベーシックオーケストラの授業では、指揮・管打楽器指導教員がセッティングからチューニング、音程やアナリーゼなどオーケストラに必要なスキルを修得できる様に基礎から指導しております。古典派の名曲を中心にプログラムを構成し一年間授業を行っております。

Basic Orchestra
Christmas Concert 2022